

会 議 録

会議名 (審議会等名)	相模原市立図書館協議会		
事務局 (担当課)	図書館 電話042-754-3604 (直通)		
開催日時	令和6年3月27日(水) 18時30分～19時30分		
開催場所	相模原市立図書館 2階 中集会室		
出席者	委員	8人(別紙のとおり)	
	その他	なし	
	事務局	10人(図書館長、相模大野図書館長、橋本図書館長、他7名)	
公開の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input checked="" type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由	相模原市情報公開条例第7条第5号に該当する非公開情報に関して審議するため。		
議 題	1 議題 (1) 令和6年度の取組等について 2 その他 (1) 相模原市立図書館窓口業務等委託に係る委員の推薦について		

議 事 の 要 旨

(大谷会長) 本日の進行は、議題が1件と、その他で1件の内容が予定されている。その他については人選案件となるため、市の審議会の公開基準に基づいて非公開となる。

1 議題

(1) 令和6年度の取組等について

資料 1-1、1-2 に基づき、事務局から説明を行った。

(佐々木委員) 図書館 DX におけるマイナンバーカード連携については、マイナンバー制度は社会的にも色々言われているという実情もあるかと思うが、どのような機能を想定しているのか。

(事務局) まず1点目として、受け取りロッカーの運用が想定される。予約本受取者がマイナンバーカードを利用して、ロッカーの開閉が可能となるような仕組みが考えられる。

(佐々木委員) ロッカーとはどのようなものなのか。

(事務局) 予約本の受け取りロッカーである。

(大谷会長) 図書館資料を予約した利用者が、その予約した資料を受け取るためのものである。

(佐々木委員) どこに設置することを想定しているのか。

(事務局) 現段階では検討中である。ロッカーは既製品で販売されているものだが、24時間受け取りが可能となるので、効果的な場所や、必要とされる場所に設置していきたいと考えており、設置場所についてはよく検討していきたい。

(佐々木委員) 駅等に設置されている宅配便の荷物受け取りロッカーのようなものか。カードをかざせば、自分がリクエストした本がそこで受け取れるというようなイメージか。

(事務局) そのとおりである。

(事務局) 加えて、マイナンバーの連携については、利用者の登録手続きの簡略化が効果として大きいものとなる。現在は窓口で紙で申請し、本人確認書類の確認を行うという流れだが、マイナンバーカードを利用することで簡略化できることが想定される。また、マイナンバーカードを図書館の利用カードとして使用することも可能となるので利便性も向上する。図書館システムを扱う事業者各社の提案も受けているところであり、今後課題等をよく整理した上で、実現に向けて取り組んでいきたいと考えている。

(佐々木委員) マイナンバーカードの普及については多様な意見がある問題でもあり、当然ながらマイナンバーカードを持たないという人もいると思うので、そういう方々のことも考えて進めていただければと思う。

(小山委員) 念のための確認だが、マイナンバーカードを使わないという選択肢もきちんと用意するという理解でよろしいか。

(事務局) そうである。

(宮原委員) 施設運営費について、980 万円増の主なものは人件費という説明であったが、これは最低賃金の上昇が大きな理由となるのか。それとも、人数の増加であったり、専門的な手当が増加したりした等の要因があるのか。

(事務局) 最低賃金の上昇や委託内容の見直しが理由である。図書館の業務においては、各種新規事業の導入等によって増加している部分があるので、そういったものを委託業務に反映させた結果、予算の増額となっている。

(竹内委員) 読書活動推進事業についてである。電子書籍サービスは、かなり予算を取っていただいているが、一方で、小学校の方では子供たちがタブレット PC を外部授業の中でも取り入れるようになってきている中で、図書館が始めたこの電子書籍サービスをどのように活用していけば良いかということについて、なかなか浸透していかない部分も実はあった。

しかし、資料を見ると図書館でも利用促進のために色々と工夫をさせていただいており、図書館司書が小中学校に出向いて、電子書籍を使ったブックトークなどを行うことも考えていただいているということはとてもありがたい。子どもたちがタブレット PC を使いながら、読書の方にも目を向けられるようになったらとても良いし、またコンテンツが少なく、借りたいけれども借りられないというような声も子どもたちから出てきている中で、新しいコンテンツを増やしていく計画があるということは、大変嬉しく思う。

(大谷会長) なかなか昨今財政状況は厳しく色々大変だと思うが、資料費に関しては増額となっており、協議会の外部評価等も少しは反映していただけたのかなということで大変嬉しく思う。やはり資料の確保がまずは大事だと思うので、大変な中だとは思いますが、図書館の方々には引き続き頑張っていたきたい。他に御意見がないようであれば次に進みたいが、よろしいか。

(各委員) 異議なし。

2 その他

(1) 相模原市立図書館窓口業務等委託に係る委員の推薦について

相模原市情報公開条例第7条第5号に該当する非公開情報に関して審議するため、非公開

(2) 各委員から

(小山委員) 市立図書館再整備の進捗状況について、簡単でも構わないので教えていただきたい。

(事務局) 図書館としては中央図書館機能基本方針を策定したことから、今後は方針

に基づき具体的な取組を進めていく。また、建物についても、図書館は複合施設の中で大きな面積を占めること、各施設の機能を融合するような役割を果たすことから、図書館としての建物内における方針として、本日の資料1-2にも記載があるが、「複合施設における図書館としての整備方針の作成」を今後は行っていきたいと考えている。なお、淵野辺駅南口まちづくり事業全体としては、まちづくりビジョンが既に策定されている状態だが、次のステップとして、まちづくりプランを策定していくことになるので、図書館の考えをプランにきちんと接続できるように、来年度は併せて整備方針を策定していきたいと考えている。その際には、本協議会や協議会事前打合せでもご意見を伺えればと思う。

(小山委員) 市立図書館の再整備は、まず一つ目として、淵野辺駅南口まちづくり事業という大きな枠組みの中で検討を進めていく形となり、二つ目としては相模原市の図書館として、中央図書館としての役割と地域図書館としての役割を考えていく必要もあるため、とても複雑で、様々な要素がその中に含まれている。そのため、まちづくり事業全体の進行状況と図書館としての進行状況について、それぞれ情報共有を密にさせていただけると、私たちも意見を出しやすくなるし、また、協議会へ進捗状況等をお知らせいただくプロセスそのものが、図書館の方々が何か物事を考えたり整理する際のきっかけになるのではないかと思う。

(大谷会長) ぜひ、情報提供はお願いしたい。現時点では、市の事務局である生涯学習課や公園課等が中心になって、プラン作成の準備に取り掛かっているという認識でよろしいか。

(事務局) そのとおりである。

(大谷会長) 承知した。

(3) 事務局からの連絡事項

(事務局) 連絡事項として、来年度の開催予定を御案内する。来年度の図書館協議会は5回の開催を想定しており、第1回は6月頃の開催を予定している。また委員の皆様は、本年の8月28日で現在の任期を終えられるため、それまでに委員の改選の事務を進めさせていただきたいと考えている。

以 上

相模原市立図書館協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	大谷 康晴	青山学院大学コミュニティ人間科学部教授	会 長	出 席
2	高柳 眞木子	みらい子育てネットさがみはら 連絡協議会副会長	副会長	出 席
3	渡部 賢一	相模原市立相原中学校長		欠 席
4	竹内 啓子	相模原市立相原小学校長		出 席
5	末永 暁子	相模原市公民館連絡協議会副会長		出 席
6	金子 友枝	相模原市文化協会副会長		出 席
7	小山 憲司	中央大学文学部教授		出 席
8	宮原 志津子	相模女子大学学芸学部教授		出 席
9	遠藤 弘一	公募		欠 席
10	佐々木 彩	公募		出 席